



【セブ都市圏のリサイクルプラント開所式での現地雇用者紹介の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 6 月 6 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-4710

ki-somu@city.yokohama.jp

市内企業がセブ都市圏にリサイクルプラントを竣工。横浜市がフィリピン・セブ州知事・セブ市長を表敬しました

5月11日から13日まで本市国際局及び資源循環局職員がフィリピン国を訪問し、セブ州知事・セブ市長を表敬した後、市内企業の(株)グリーンが設置した廃プラスチックリサイクル工場の開所式に参加しました。

セブ州知事やメトロセブ開発調整委員会との面会では、セブ都市圏の持続可能なインフラ開発への協力についても、横浜市に対して強い期待の声が寄せられました。



工場開所式には、セブ州知事、コンラシオン市長(プラントが所在する市)、セブ市議員等を始めとする現地の代表が多数参加し、廃プラスチックから日量最大約70トンの石炭代替燃料が生産可能な新施設の完成を祝賀しました。

APEC 都市化ワークショップへ参加しました

5月13日にベトナム・ハノイで「APEC 域内の都市の持続可能性測定指標及び実現策の策定に係るワークショップ」が開催され、本市国際局職員が出席しました。



政府機関、都市の代表が参加したこのワークショップでは、ベトナム・ダナン市やシンガポール等での事例を参考として、経済産業省が作成した都市の持続可能性に関する評価指標の活用方法や、指標を用いた都市課題の改善策について意見交換が行われました。

本市は、G30の取組や3R夢プラン、公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)の紹介を行い、本市のごみの削減実績に大きな関心が寄せられました。

都筑区北山田町内会からブルキナファソへ消防車を寄贈しました

都筑区北山田町内会の消防団が所有していた消防車を、アフリカのブルキナファソに寄贈することが決まり、5月16日に、寄贈式が開催されました。フランソワ・ウビダ駐日ブルキナファソ特命全権大使、北山田町内会の田村会長をはじめ、日本アフリカ友好横浜市議員連盟の草間事務局長、横浜市から関山国際局長が参加しました。



横浜はブルキナファソナショナルデー記念プログラムの開催地に3年連続でなる等、同国と親密な関係を築いています。今回、草間事務局長支援のもと、消防車がブルキナファソに贈られることになりました。

